

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2019～2020年度クラブ目標

『共に手をつなごう
ロータリーのもとで』



ロータリーは
世界をつなぐ

会長 中目 公英
幹事 兼子 聡



2019-20年度国際ロータリーテーマ

第1589回例会

令和元年 7 月 4 日 (12:30～13:30)

○ソング

- 君が代 ●日も風も星も

○スマイルBOX

- 中目公英会長 (本年度の第一回目の例会で緊張しました。一年間、会員の皆様にはお力添えをいただき、何とか白河西RCの運営を進めてまいりたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。)
- 永野文雄会員 (中目会長・兼子幹事の新年度のスタートをお祝ひいたします。先週、前年度の「スマイル功労賞」をいただきました。ありがとうございます。)
- 山田顕一郎会員 (新年度開始をお祝ひしてスマイルします。一年間よろしくお願ひ致します。)
- 池田浩章会員 (中目会長・兼子聡幹事 一年間ご指導よろしく、お願ひ致します。)
- 石部辰雄会員 (中目会長、兼子幹事体制、おめでとうご座居ます。宜しくお願ひします。)
- 金田昇会員 (中目・兼子年度の船出をお祝ひいたします。佐川君、阿部君、高島君のご健闘をお祈りいたします。)
- 三瓶徹会員 (中目会長、兼子幹事、一年間よろしくお願ひします。)
- 小林義勝会員 (中目会長、兼子幹事の船出をお祝ひいたします。6月29、30日の甲子園大会に参加して来ました。別府北RCと2対2の引き分けでした。皆さんの応援ありがとうございました。)
- 佐藤清作会員 (中目会長、兼子幹事の新年度の出発をお祝ひいたします。一年間よろしくお願ひいたします。)
- 堀田一彦会員 (甲子園大会に出場して、なんと4回まで試合をすることが出来ました。中目会長、兼子幹事、一年間よろしくお願ひします。)
- 鈴木孝幸会員 (満を持して、いよいよ中目、兼子丸の出港ですね。一年間大船に乗ったつもりで過ごさせていただきます。)
- 鳴島三夫会員 (中目、兼子年度 一年間よろしくお願ひします。)
- 成井正之会員 (中目会長、兼子幹事一年間ご指導宜しくお願ひ致します。中目、兼子丸の門出を祝して。)
- 富永章会員 (中目会長、兼子幹事 一年間よろしくお願ひいたします。)
- 安部和夫会員 (中目会長、兼子幹事一年間よろしくお願ひします。)
- 村上堅二会員 (新しい出発、頑張ってください。)
- 藤田龍文会員 (よい、船旅を!!)
- 前原俊治会員 (中目、兼子年度の船出おめでとうございます。一年間大変でしょうが頑張ってください。)
- 居川孝男会員 (中目、兼子年度の船出を祝しまして！RC甲子園頑張ってきました。)
- 関谷亮一会員 (中目公英新会長、兼子聡新幹事就任おめでとうございます。一年間お世話様になります。)
- 片倉義文会員 (中目会長、兼子幹事 いよいよスタートです。一年間お世話になります。)
- 青木大会員 (中目兼子年度スタートおめでとうございます。また、昨年度はお世話になりました。パーティーは取ってませんがスマイルします。中目年度のご活躍をご祈念しております。)
- 佐藤幸彦会員 (鳴島前会長・青木前幹事、一年間ご苦勞様でした。中目会長・兼子幹事、がんばってください。クラブ会報委員会を担当させていただきますので、宜しくお願ひします。)
- 吉野敬之会員 (中目会長兼子幹事年度の無事な開始おめでとうございます。会長の理知的な運営を期待し、幹事がばつくないように目を光らせ、楽しい一年にしましょう。吉田SAAの初々しい進行さっそく楽しませていただきました。)
- 齋藤孝弘会員 (とりあえず!! 一年間ガンバってください。)
- 湊洋子会員 (新年度会長、幹事 一年間よろしくお願ひいたします。)
- 熊澤直紀会員 (中目会長、兼子幹事、一年間よろしくお願ひします。)
- 吉田充会員 (中目会長・兼子幹事の船出をお祝ひ申し上げます。例会会場監督として、皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。)
- 小林仁一会員 (中目会長、兼子幹事、一年間よろしくお願ひ致します。)

▶第1589回例会出席状況 (R元年7月4日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	25名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓔ ②の出席者数	10名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	35名
Ⓕ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	54
Ⓖ = ⑥ / ⑦ × 100 (例会出席率)	64.81%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

中目公英会長

皆さん、こんにちは。今年度、第一回目の例会何かとお忙しい中ご参加いただきまして本当にありがとうございます。今日は委員会報告盛り沢山でありますので、この会長の時間は短めにとっております。まずもって、鳴島・青木お二方には昨年度一年間大変ご苦労様でございました。今日からだいぶ肩の荷は軽くなったとは思いますが、大所高所から私の年度についてもいろいろとご指導いただければと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。次に、昨日から九州地方をはじめ雨のニュースが流れていきます。昨年の西日本の豪雨の事。あるいは20年くらい前になります8.27の白河の水害の事などをどうしても頭に思い浮かべてしまいます。雨がやみましたがまだまだ地盤が緩いところがあるかもしれませんので、皆さん十分この天候には気を付けていただければと思っております。またもう一つ、まさに猪年の選挙の年と言われてますが、白河はまさに選挙一色になっております。6月30日告示の7月7日投票で白河市長選挙、並びに白河市議会議員選挙が行われております。我がクラブからは3名の方が立候補しておりますので、それぞれ善戦していただきまして、来週はにこやかな顔で例会に出てきてくれればいいと思っております。さらに今日から参議院選挙が告示されまして21日の投票になっているということであります。これから4年間の白河、そして日本の在り方を問う選挙ですから、皆さん棄権しないで選挙に行ってくださいようお願いをいたします。このくらいだけ会長の時間にさせていただきます、あとは新年度方針のほうでお話をさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

■幹事報告

兼子聡幹事

- 福島民友新聞社：新体制の役員名簿、写真の提供について
- ガバナー事務所：公式訪問時のお願い
- ガバナー 芳賀裕、公共イメージ・IT委員長 相良元章：「マスコミ懇談会」開催のご案内
- ガバナー 芳賀裕、地区幹事 安藤正道：日本のロータリー100周年記念ピンバッジ頒布についてご協力をお願い
- ザ・ロータリー：ロータリー財団室ニュース
- 国際ロータリー日本事務局：事務所のご案内
- ガバナー事務所：マイロータリー会員入退会報告手順書

■委員会報告

○親睦委員会

・誕生日

遠藤敦会員

阿部克弘会員

小林仁一会員

吉田充会員



須藤正樹委員長

・結婚記念日

上杉謙太郎会員

○雑誌広報委員会

安部和夫委員長



皆さん、こんにちは。「ロータリーの友」の見どころ等をご紹介させていただきます。今年一年、雑誌広報委員会では私が委員長ということで、それから委員に渡部則也先生、渡部勝也会員、前原俊治会員ということで、ベテランの4人で見どころ等をご紹介させていただきます。一年間、よろしくお願ひいたします。まず、「ロータリーの友」ですが7月ということでRI会長のマーク・ダニエル・マローニーさん、このご紹介の記事が5ページから出ております。人となり、この人の陽気な旅人ということで、なんか人柄が出ているのかなと思います。是非、ご一読お願ひしたいと思ひます。それから、横組みの3ページ「ロータリーの友」の委員長の片山委員長のほうから最後のほうなんですが、右側の下から5行目からメッセージということで、どんな読み方でもいいと思ひます。皆様の負担にならない抵抗感のない、それぞれ自分に合った読み方で好みに合った読み方、自然体で読む。それが好読です。負担のない好読を続けてください。いつしか好読が愛読になることを祈っていますということで、ちょっとこれから紹介するんですが、本当に盛沢山で入っておりますので、飽きないようにいろいろ工夫をしておりますので、皆さんのほうでもよろしく見ていただければと思ひます。それから23ページ、私共の2530地区のガバナー、芳賀裕さんのプロフィール等が出ております。芳賀さんは私と同業者でございまして、昔からよくご存じ上げて温厚な方で司法書士会の県の会長とか全国の役員等も歴任された方でもあります。ちなみに奥さんは、白河クラブの吉川弁護士さんの姉妹ということで縁戚になっております。そういうことで、今度ガバナーが来るのを楽しみにしたいと思ひます。それから54ページ、パズルコーナーというのがあるんですね。ちょっと時間のある時に頭のトレーニングにもなります。これはロータリー以外の人も楽しめますので是非ご活用いただければと思ひます。それから、今度は縦組みになりますけども、19ページ「私の一冊」ということで囲みで自分の愛読本の紹介記事が出ております。この中で私どもの先程甲子園に行ってきた、私自身は苦しい思い出なんですけども頑張ってきたつもりなんですけども詳細はあとで報告すると思ひますが、その中で大スターである清原和博さんの告白の本でございます。本当に栄光から挫折まで、それからまた今這い上がっているとこまでの告白でありますので、本当に興味のある本で私も後で見たいと思っております。皆さんのほうでもご興味があれば三瓶先生がお持ちだと思ひるので声をかけていただければいいのかなと思ひます。今日は時間がないということなので手短にご紹介させていただきました。一年間、よろしくお願ひいたします。

○会計

横田俊郎会員



皆さん、こんにちは。今年度も引き続き会計を務めさせていただきます横田でございます。よろしく願いいたします。今月、年会費の引き落としさせていただき予定でございます。日にちは7月25日引き落とし予定となっております。改めて事務局のほうからファックスでご案内させていただきますが、ご準備のほどをよろしくお願いいたします。

○社会奉仕委員会

齋藤孝弘委員長



皆さん、こんにちは。社会奉仕委員会の委員長を仰せつかりました齋藤です。一年間、よろしくお願いいたします。毎年恒例になってます街頭献血キャンペーンの参加のお願いでございます。7月11日、来週の木曜日10時に白河市の駅前広場で行いますので、ご参加できる方はよろしくお願いいたします。それとその前日、7月10日に総理大臣メッセージ伝達式、および街頭啓発運動の参加をお願いいたします。午後3時30分に白河市役所に行って集合をお願いいたします。

○スマイルボックス委員会

山田顕一郎委員長



皆さん、こんにちは。今年度、スマイルボックス委員会の委員長を仰せつかりました山田でございます。ちょっと初めてなものでいろいろこれから勉強させていただきますけど、どしどしスマイルをしていただいて、また今年も集計をさせていただいて最後にちょっとした表彰をさせていただきますので、今年の何卒スマイルをニコニコスマイルよろしくお願いいたします。

○野球愛好会

小林義勝監督



皆さん、こんにちは。今年度、再び野球愛好会の監督を仰せつかりました小林です。先日、甲子園大会に行ってきたのでその報告を簡単にさせていただきますと思います。参加メンバーは選手13名。そして、応援と万が一の介護のために根本あゆみ会員と大住由香里会員のお二人が参加していただき総勢15名で参加してきました。試合のほうは6月29日はいろいろと前夜祭で、やはり甲子園のほうも雨が降ったり止んだりのはっきりしない天気でありまして、当日30日は私たちは第一試合だったものですから、朝早く起きててもやはりまだ雨も降ったり止んだりという状態で、大会本部のほうも中止にするか実施するか最後まで悩んでいる状況でございましたが、天は我々を味方してくれたんでしょうね。ちょうど8時半の試合直前には雨もあがり試合をさせていただくことができました。対戦相手は九州大分の別

府北ロータリークラブさんで、試合のほうは、うちのほうが初回にまず1点を入れていただいて、裏は別府さんがゼロ。2回は共に0-0。3回にまた我々のほうで1点、別府さんのほうにも1点入れられてしまい、ここで2-1。4回に入りましてうちのチームは健闘残念ながら、いい場面もあったんですけども得点には結びつかずゼロ。その裏に北別府さんに1点を入れられて、ここで2-2の同点になりました。4回に入ってから徐々に雨も降りだして、これはちょっとやばい状況かなと思いつつ、5回表の攻撃は私の判断もちょっと鈍かったんですけども、全員を出すという約束のもとに行ったわけですが、5回からまず鶴丸君にバッターボックスに入ってもらったんですけども、なお一層雨が強くなってしまい一時中断ということで様子見をさせられました。その後、やはり本部の決定でここでコールドゲームといたしますか、雨天中止ということで4回の表裏まで終わったところで2-2の大分の別府北ロータリークラブさんとは引き分け試合という形になってしまいました。そこで今のお話したように全員をグラウンドに出させていただいてプレーしていただくつもりだったんですけども、鶴丸君はバッターボックスに入りましたが、安部和夫先生、そして成井正之先輩にはそこまでたどり着く前に試合を止められてしまったものですから本当に残念で仕方ありません。また恐縮でございました。本当に申し訳ございません。それで皆さんのお手元のほうにこの小さなお菓子のほうは、皆さんのほうに本当にクラブのほうからも沢山援助していただいたおかげで我々も甲子園で頑張ったわけですので、ほんの粗品でございますけどもお土産を用意させていただきましたのでお持ち帰りください。また、残ってまいりますので事務局の大竹さんの前に置いてありますから、皆さん帰りに好きなだけ持って帰ってください。今後、野球愛好会、今年もFIT野球大会と東北大会、そういうのが今後スケジュールに入ってますので、これからもまたみんなと共に仲良くそして頑張っていきたいと思っておりますのでこれからも応援よろしくお願いいたします。

■本日のプログラム

会長・幹事新年度方針

○中目公英会長



それでは、第一回目の例会恒例の会長方針を少しお話をさせていただきます。資料を作ってきました。皆さんのお手元にA4のこちらの資料があるかと思っておりますのでご覧ください。まず初めに、国際ロータリー今年度の会長はその2ページ目、表紙をめくってもらおうとありますようにマーク・ダニエル・マローニーさんという方です。アメリカの方です。国際ロータリーの今年度のテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」というのが今年度のテーマになります。原語では「Rotary connects the world」ということです。こ

れは真ん中にあるのがロゴになります。意味するところは、群青色の丸いのは地球でその周りを色が違う4人の人間が手を繋いでいる。つまり、白色人種も黄色人種も黒人もというふうな形でいろんな人種、いろんな考え方の方がロータリーの下でお互いに手を繋ぎ合せて世界をくるんでいるというのが、今年度のテーマに則ったロゴマークになっておりますのでこちらのほうを今年度一年間使うという形になっております。国際ロータリーのマーク・ダニエル・マローニーさんですが、今まで国際ロータリーの会長が日本に、そして福島県に来たことは未だかつて114年のロータリーの歴史の中で一回もありませんが、今年8月にマーク・ダニエル・マローニーさんは福島県にお越しになるそうでございます。それはどうしてかということ、東日本大震災の時に国際ロータリーあるいは日本ロータリーのほうから沢山の復興の資金を援助していただいた。10年間でいろいろな形でそのロータリーの資金を使って復興の活動をしてきたわけですが、現在約10年目を迎える今年どのような形になっているのかという状況視察と共々、地区の2530地区ではそれだけいただいたので、多少なりともご恩返しをしないといけないというふうなことで、R Iの会長をおもてなししようというふうなことが今年度大きなプログラムの一つになっております。国際ロータリーの会長のメッセージというのは、大概私も何年もロータリアンやっていますが一回も読んだことありません。この機会に是非皆様方にこれを読んでいただければと思っております。特に最初のページの一番下のパラグラフ。21世紀の新たな10年の始まりに私たちはロータリーの未来を形作っています。2019-20年度ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に答え、より活性化された重点分野において活動します。国際ロータリーの考え方というのはその次のページ。ちょうど今年度、2019年から2024年までの5年間の活動方針。それを原語は「Strategic plan」。日本語にするとえらいなんか戦争っぽいですけども戦略計画と日本語で訳してありますが、今後5年間で国際ロータリーがどのような方向で進んでいくかというふうなことをその規定審議会等々で計画しているわけです。これも後で読んでいただきたいと思っております。この戦略計画のもとこれから5年間国際ロータリーは歩んでいくわけです。ただ5年間、この戦略計画だけではなくて一年一年ごとの年次目標というのが決められています。その次のページを開いてください。国際ロータリー、つまり私の年度の国際ロータリーの年次目標というのがありまして、「ロータリーは世界をつなぐ」というテーマのもとに、優先事項の第一目標が「人々が手を取り合うことを促そう」というふうなことが優先事項の目標になり、もう一つの項目が「行動する」ということが目標になっているんだそうです。その具体的な項目はそれぞれ項目がありますからあとでお読みになっていただければと思っております。そし

て、この年次目標のそれぞれの項目をそれぞれのクラブ、それぞれのロータリーのメンバー、お一人お一人が達成をすると次のページにありますロータリー賞というのが貰えるという形になっているというふうな国際ロータリーの仕組み、システムになっているので、まずこの機会に国際ロータリーのシステムについて皆様方の認識を一つ新たにしてもらえればと思っております。次のページには先程安部先生からも話が出ましたが、今年度の2530地区のガバナー芳賀裕さんのガバナーメッセージと、それ以降の地区活動目標と地区運営方針を記載しておきました。この話は8月8日の公式訪問の時にガバナー自身がお話しをすることですから、とりあえず今日あとで読んでおいていただいて実際具体的にかみ砕いてどういうふうなことが目標なのかということが実際の8月8日の公式訪問の時に芳賀ガバナーから直接お話を聞くというふうなことがいいのではないかと思いますので、こちらのほうはとりあえず一瞥をしておいてもらえればと思っております。そして今日、私の会長方針がその次のページに載っております。白河西ロータリークラブの今年度のクラブ目標はここに書いてあります。「共に手をつなごうロータリーのもとで」。R I会長の「ロータリーは世界をつなぐ」というテーマをもとにしましてこのように決定をさせていただきました。「共に手をつなごうロータリーのもとで」。R I会長と西クラブの会長はどういうふうに違うのかというのは、ロータリーに対する思い入れの強さによってこういうふうなテーマが違ってまいります。R Iの会長はロータリー、ロータリアンそのものが歩いているようなものですから、主語は「ロータリーは世界をつなぐ」というふうになっておりますが、西ロータリーの会長のわたくしはそれ程ロータリーに対してまだ勉強不足ですから、主語がロータリーはというふうにするだけの度胸がありませんので、主語は消えてますが私たち一人一人、西クラブのメンバー一人一人はというふうなことであります。その一人一人というのは、ロータリーと全く同一になってないということがまだロータリーの勉強が浅いのかなということが考えられるかもしれない。そういう違いがあるかもしれませんが、まあ実際問題そんなにロータリーの思い入れがない場合は「ロータリーは世界をつなぐ」って、そんなにロータリーって凄いのかって思ってしまうので、なかなかそれよりはもっと穏やかに優しく「共に手をつなごうロータリーのもとで」というふうに一応決めさせていただきました。このクラブ目標のもとで私の方針を読まさせていただきます。ポール・ハリスは1905年に、シカゴの殺伐たる大都会の中で人の温かさを求め3人の友と会合を持ちました。それは会員の一人一人がまずは親睦を深め、次に職業上の相互扶助を図り、それによって自分たちが良くなるばかりでなく、自分たちが暮らす地域社会も一緒に良くしようとそれぞれの職業を通じて奉仕するというロータリーの始まりでした。この

ロータリーは奉仕の理想を高く掲げ世界に広がり今日まで続いています。我が白河西ロータリークラブは、1986年、昭和61年に結成され様々なご縁をもって入会した会員たちがまずは親睦を深めると。いろいろな場面において会員相互に助け合い、ふるさと白河のためにご恩返しの奉仕活動を数多く行い、同じ心を持つ仲間を増やしながらいきまで続き、明年度の2021年、令和3年には創立35周年という一つの節目を迎えようとしています。このようにロータリーには親睦から奉仕、奉仕から拡大という最も根源的なベクトルがあるように思われます。ロータリーの根源は、会員同士の親睦が原点で、その力のエネルギーの源泉であるというふうに思います。マーク・ダニエル・マローニー2019-20年度国際ロータリー会長は「ロータリーは世界をつなぐ」をテーマに掲げ、2019年から始まる5年間の新しい戦略計画のもとで2019-20年度の年次目標を立てています。また、芳賀裕2019-20年度国際ロータリー第2530地区ガバナーは、このR Iテーマと年次目標に沿って第2530地区の活動目標を定めています。これらの目標を達成することで、世界で地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指そうというロータリーのビジョンを高く掲げています。今、かぎ括弧で括っている所が、現在ロータリーが5年間の戦略計画のもとに目指そうとしているロータリーの未来像。これが世界で地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しましょうというふうなことを未来像として掲げているというわけであります。この国際ロータリーや2530地区の事を一瞥すると刻々と変容する世界の中でいつも求められるロータリーであり続けようと革新性と柔軟性。原語で言いますと「innovation」イノベーションと「flexibility」フレキシビリティ。この二つを持ってロータリー自らが果敢に変わっていきこうとしていることに気付かされます。つまり、ロータリーというのは毎日毎日変化をして生きているのです。我が白河西ロータリークラブにあっては、一方で親睦から奉仕、奉仕から拡大というその根源的なベクトルのもとにしっかりと足を付け一歩一歩と歩みつつ、一方で「ロータリーは世界をつなぐ」という国際ロータリーのテーマとその動向を見失わずについていきたいとそう思うように思います。そうすることにより、ロータリーと繋がり、会員同士が繋がり親睦から湧き上がるエネルギーによって様々な奉仕活動を行い、新しい会員を見つけては繋がりふるさと白河と繋がっていきましょう。ロータリーのもとで共に手を繋いでいきましょう。これを英語に直すとこういうふうな意味です。「ShirakawaWest rotarians, shall we enjoy rotary to connect the world?」というふうなことで今年一年間活動していきたいと思っております。一年間、会員の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。という基本的な方針を立てさせて

いただきました。そのもとで重点活動目標は、国際ロータリーの一年間の年次計画、年次目標に合わせまして、「人々が手を取り合うのを促そう」ということと、二番目の「行動しよう」というふうな大きな括りの中に、それぞれいくつかの項目を上げさせていただきました。その第一番目はロータリーと繋がりましょう。ということです。国際ロータリーの動きを学び、我がクラブの定款と細則を更新して組織を活性化しましょうということです。2016年の規定審議委員会でロータリーの方向性が大きく変化をしました。現在、ロータリーの例会は毎週1回やっていますが、今の規定でいうと月2回最低やればいい。しかも、その月2回もみんなが一堂に会場に介さずネットで繋ぎ合っただけの例会をやってもいいくらいまで実は変わっています。それに則るような形の定款と細則になっているわけですが、残念ながら我がクラブではその採択をまだしていません。それを何とか現在のロータリーに則るような形に変えていきたいというふうなことを考えています。二番目、会員同士が繋がろう。食事を美味しく例会を楽しくして出席率を高めましょう。Eクラブみたいな形で画面を通して例会をするよりは、白河西ロータリークラブはやはりみんなで一堂に会して例会を持ちましょうということの基本にしたいと思っております。もう既に活動しておりますが二番目、新しいロータリーソングを歌おうということで、ここにあります「日も風も星も」をこのところ練習をしているということです。さらに親睦活動を充実して家族の参加を増やしましょう。これはマローニー国際ロータリー会長が掲げていますが、ロータリー活動と家族の奉仕活動は相反しないと。ロータリー活動と家族に対する活動というのは一緒だというふうに今年度強く主張されておられますから、何とか家族の方々がロータリーの活動と一緒に参加するというふうなことを増やしていきたいと思っております。それから若い世代と繋がろうということも掲げています。青少年奉仕として我がクラブが何年も続けているCKBの野球大会を盛り上げると共々、J・C・Y・E・Gと一緒に活動しましょう。さらに、国際ロータリーあるいは地区のほうで一生懸命推奨しているRYLA、青少年の指導者を育成しましょうという活動ですとか、それをクラブの御子弟の方、さもなくば昨年度、諸橋青少年奉仕委員長が話をしましたが、本町で喫茶店をやっている若い方々なんかをこのRYLAのほうに参加させて勉強してもらって研修を積んでもらうというふうな国際ロータリーで言っているところの青少年奉仕というのをしていきたいということです。その次に新しい会員と繋がろうということです。会員の増強というのは、どうしても白河西ロータリークラブがいつも活性化していくためには大変必要な重要なことだと思いますので、今年度も会員の増強に努め新しく入った会員にロータリーの知識を学んでもらいたいということを掲げておきました。次に我がクラブには、米沢中央、コザ、深谷

ノースのそれぞれの姉妹クラブがございます。特に昨年度、深谷ノースさんから30万円の資金をいただきました。椅子を白河のために寄付してもらいました。新一万円札の肖像画に渋沢栄一が採択をされ、現在埼玉県深谷では大変盛り上がっている。まさに、福島県で野口英世がお札になって、野口英世記念館が盛り上がっているように、現在、深谷の渋沢栄一記念館は本当に盛り上がっているそうです。その手助けとして、昨年の返礼としてその渋沢栄一を盛り上げるようなことを地元白河でももちろんしたいとは思いますが、まずは深谷ノースさんに30万円をお返しをして、向こうの渋沢栄一の活性化の事業のために使ってもらいたいことを考えていることを思っています。そのほか、県南分区の矢吹ロータリーの観桜会をはじめ、白河3クラブ等々、地元のクラブとの行き来もして繋がりますというふうなことを一応目標に掲げさせていただきました。二番目は、行動しようということです。青少年奉仕委員会についてはそでお話ししましたが、二番目の項目として奉仕プロジェクトを盛んにしようということ掲げておきました。職業奉仕委員会には、小林仁一委員長のもとに先進的な職場訪問をして、革新してイノベーションを体験するような活動をしましょうという目標をとりあえず掲げさせていただきました。社会奉仕についてそのいろいろな活動の一つとして、林名誉会員が始めたロータリーの森事業は私の年度で始めてから20年目を迎えるというふうな節目の年に当たるということで、ロータリーの森の事業というのはどういうふうな事業だったのかというふうなことを振り返りつつ、阿武隈川源流地域として二酸化炭素を出さない、水を綺麗にするというふうな活動するという事業を社会奉仕の一つに取り上げたらどうだろうかということをおきました。国際奉仕については海外とのクラブの交流をしましょうということです。あと公共イメージとして、白河、そして世界と繋がろうということです。ホームページで情報を更新をするということ、今国際ロータリーではマイロータリー、ロータリークラブセントラルの活用というのが必須になっておりますから、そちらの方法を活用するようなことをそれぞれの委員会の委員長さんをお願いをしております。さらに、ロータリーの財団、米山奨学会と繋がろうというふうなことで昨年の年次総会の時に我がクラブは初めて制度として財団のほうに一人五千元、米山のほうに一人五千元お金を出すということに決めましたが、そのほかの篤志有志の方々に寄付のご協力をお願いすることをお願いをしております。残念ながら年度当初からのDDF、地区財団活動資金の活用はうまくいっていませんが、年度途中からでも活用できるように財団委員長等々お知恵を借りながら、社会奉仕それぞれの奉仕プロジェクトの委員長とも相互の話し合いをしながらでもなんとか活用ができればいいなと思っております。それから来年の3月、地区のほうで行う復興フォーラムと

いうのがありますので、今白河西ロータリーも応分のご協力をしたいというふうに思っております。三番目として、とりあえずロータリー賞への挑戦というのを掲げておりました。24代の木村篤司会長の時には、会員の増強が目覚ましいということで、その当時のガバナー、中澤ガバナーの目に留まりまして、その当時はロータリー会長賞というのを貰うことができました。25周年の記念の時に貰うことができました。次の年の地区大会で表彰されるということですから、34周年の今年ロータリー賞に見合うような活動をする、創立35周年の年の10月頃に行われる地区大会で表彰されるということですから、吉野年度の35周年に華を添えるためには今年度から活動するというのの一ついいのではないかとということで、ロータリー賞への挑戦というのを掲げさせていただきました。簡単ではございますが、ちょうどいい時間になってしまいましたが、このくらいで私の会長方針にさせていただきましたと思います。一年間、皆様方のお力添えどうぞよろしく願いいたします。

○兼子聡幹事



改めまして、今年度幹事を仰せつかりました兼子聡と申します。なにぶん事務方というものが初めてでございまして、本当に皆様にはいろいろとご協力を願うことが多々あるかと思っておりますけれども、急なお願いでも笑って受けいただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。幹事方針ということでございますが、わたくし幹事といたしましてはまずは中目会長の今の方針のもとと会を繋いでいくことと、ここにいる会員の皆様方と会長を繋いでいくこと。そして、姉妹ロータリーの皆さん、また他のロータリーの皆さんと共にこの会を会長と繋いでいくことが幹事の役目なのかなと思っております。本当に会長はカチカチでございまして、わたくしはゆるゆるでございまして。うまく合わさればうまくいくのかなと思っておりますし、わたくしのゆるゆるさだけが出ていってしまうとなかなか会の運営も難しいのかなと思っておりますけれども、本当に一年間勉強のつもりでこの西ロータリー、また中目会長を盛り立てていくつもりで頑張りたいと思っておりますので、本当にご協力をよろしく願いいたします。

